令和７年２月

企画厚生課

**ハラスメントアンケートの結果について**

**１．アンケートの概要**

➢ハラスメントの発生を未然に防ぐための啓発・取組の強化や、再発防止に向けた新たな取組の一環として、職員間のハラスメントに関する認識等について、令和６年１２月にアンケートを実施した。

|  |
| --- |
| ・実施期間　　 令和６年１２月２日（月）～１２月２３日（月）・対象者数　　　約10,300人（常勤：8,500人、非常勤：1,800人）・回答者数　　　　　　　6,404人（常勤：5,349人、非常勤：1,055人）・回答率　　　　　　　　　62.2％（常勤：62.9％、非常勤：58.6％）　⇒　**前年度から19.7％の増加**参考：令和５年度42.5％（常勤：43.6％　非常勤：37.3％）【備考】※本アンケートは、回答者の認識について記入したもの。※ハラスメントの認定にあたっては、被害を受けたとされる方の意見だけでなく、行為者とされる方への確認や、当該ハラスメントに関する客観的な事実やその状況等を複合的に考慮する必要があるため、回答のすべてがハラスメントと断定するものではない。 |

**２．アンケート実施結果の概要**

|  |
| --- |
| ➢自分自身がハラスメントと疑わしい行為・言動を受けたことが「あった」と回答した職員は、４９１名（対象者数の４．８％）、前年度から約2割減少　　　※R５年度は、６０４名、（対象者数の５．８％）➢その内容としては、パワハラ、セクハラ、マタハラの順で多く占めていた。昨年度と同様の傾向。※他の職員が「ハラスメントと疑わしい行為・言動等を受けたりしているのを見たり、聞いたりした」という回答については、同様の傾向。 |
| 約2割減少 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 疑わしい行為・言動の区分 | 今回 | R５年度 |
| パワハラ（脅迫、無視、等） | 457名 | 555名 |
| セクハラ（身体接触、性的言動、等） | 67名 | ８３名 |
| マタハラ（嫌がらせ、等） | 20名 | ３３名 |

 | 自分自身が受けたハラスメントと疑わしい行為・言動の区分・割合 |

**「ハラスメントと疑わしい行為・言動等を受けた」と回答する職員は減少しているものの、依然として一定数存在していることから、引き続き、ハラスメントに関する取組みを実施する。**

**このうち、今年度においては、ハラスメントにより処分を受けた職員を対象とした区分別（パワハラ、セクハラ、マタハラ）研修を新たに創設し、ハラスメントの再発防止に向けた取り組みを充実する。**

昨年度から6.0%減

昨年度から5.0%減

6

6

**自分自身が他の職員から受けたハラスメントと疑わしい行為・言動等はどのようなものでしたか。**

**【自分自身】**

**【他の職員】**

　　　

**自分自身がハラスメントと疑わしい行為・言動を受けたり、他の職員がハラスメントと疑わしい行為・言動等を受けたりしているのを見たり、聞いたりしたことがありますか。**

**自身・自身以外からのハラスメントがあったという割合が昨年度から減少している傾向にあるため、引き続き、ハラスメントに関する取組みを実施する。**

**あわせて、ハラスメントにより処分を受けた職員を対象にハラスメント別（パワハラ、セクハラ、マタハラ）に関するDVD視聴研修を実施することで、ハラスメントの再発防止を図り、職場環境の改善に努める。**